北海道の体育
体研連ミニ広報
No. 1
令和４年６月１日（水）

令和４年度 定期総会が開催されました

令和４年４月 23 日（土）に、北海道学校体育研究連盟の定期総会が開催されました。会場出席者とＷＥＢ出席者によるハイブリッドでの開催となり、ホテルライフォート札幌から参会した役員・事務局会員をはじめ、12 支部から 59 名の参加となりました。

開会後、まず、大牧委員長から挨拶があり、全道統一研究主題である「つなぐ体育　ひらく未来」のように各支部とのつながりを大切にし、全道がワンチームとなって、ひらく未来に向けて発信していくことが述べられました。続いて顧問の第 14 代委員長金井孝様からご挨拶いただきました。一時、全道で 20 万部の使用があった体育の副読本「わたしの体育」についての貴重なお話も拝聴することができました。役員、各支部の自己紹介後、議事に入り、初めに宗谷支部からの加盟申請が承認されました。

次に、令和３年度の業務報告がなされました。15 支部 567 名の会員数となり、今後も事業が持続可能となるよう、つながりを大切にしながら組織の拡大を図っていくことが確認されました。続く各支部活動状況報告では、昨年度の成果や課題を共有するとともに、今年度全道大会開催の上川支部からは、上川大会に向けて会同での開催を予定していることが伝えられました。

大牧　眞一　委員長

第 14 代委員長　金井　孝 様

嶋本　剛　事務局長

令和４年度の計画に関しては、嶋本事務局長より、小学校体育指導資料作成プロジェクトの実施について、「教育技術」に資料提供を行うことや、事務局業務の見直しにより、会計業務は事務局次長が担うこと等が提案されました。

次に、全道研究担当者研修会について、秀島事務局次長から授業研究と実技指導研修会を隔年で行っていくことが提案されました。さらに今年度の第 32 回全道研究担当者研修会は、実技指導研修会を２部制（第１部：小学校・中学校に分かれて実施、第２部：小学校・中学校合同で実施）で行い、指導技術の研鑽を積むとともに、全道各支部のつながりを大切にした研修会にする案が示されました。

令和４年度予算案では、嘉藤会計部長より、令和４年度の会費は、令和３年度の繰越金を活用して 1,000 円とすることが提案されました。

令和４年度の業務計画、全道研究担当者研修会、予算案は全て承認され、その後、駒込役員選考委員長より令和４年度の役員選考結果が伝えられ、今年度の役員が下記のように決定しました。

最後に、大牧委員長より、今年度全道大会開催支部の上川支部へ連盟旗引渡しが行われ、上川大会を全会員で盛り上げていくことが確認され、令和４年度の定期総会が閉会となりました。

令和４年度　新役員

≪令和４年度新役員≫※敬称略

委員長	大牧　眞一（札幌）	
副委員長	富川　浩（札幌）	
	下坂　吉彦（十勝）	
	亀田　寛人（留萌）	
	菅原　彰（旭川）	新
	岡室　伊知郎（旭川）	新
	岡崎　利美（小樽）	新
	井上　暁博（ｵﾎｰﾂｸ）	新
	中間　靖之（上川）	新
	林　政孝（釧路）	新
	千葉　智明（札幌）	新
	渡邉　均（後志）	新
	松本　ちひろ（宗谷）	新
	石川　嘉明（函館）	新
	佐々木　弘司（檜山）	新
監事	佐藤　孝一（札幌）	
	相馬　聡（札幌）	新
事務局長	嶋本　剛（札幌）	
事務局次長	秀島　起也（札幌）	
	永井　敬仁（札幌）	
	菅原　伸一（札幌）	新
	髙橋　直之（札幌）	

今年度全道大会開催　上川支部瀬戸事務局長

（文責：広報部　濵田　風太）